



命と防災の日～地震避難訓練～

4月14日は、「命と防災の日」です。教室待機の訓練の後、全員で体育館に移動し、元益城町立飯野小学校長で防災士の柴田敏博様（2丁目区長）に講話をしていただきました。また、「オールみふね恐竜の郷復興プロジェクト」の方より全児童にリーフレットをいただきましたので、本日子供たちに配布しました。ご家庭でも熊本地震の体験や防災・減災について子供さんと是非話をしてみてください。

（校長先生の話から）

今日は「命と防災の日」です。今からちょうど10年前の4月14日、ここ御船町でも大きな地震が発生、その後も余震が続き、16日には、再び大きな地震が発生しました。その中で、多くの尊い命が奪われ、たくさんの人たちが避難生活を送りました。

地震が発生した年に生まれたのが、今の4年生です。5年生、6年生はまだ赤ちゃんでしたので、覚えている人は少ないでしょう。大人でも10年たつと忘れてしまいます。そこで、地震のことを忘れないように、いろいろな本や写真集がつけられています。今日皆さん一人一人にこのような本を配ります。ここには、御船町の被害の様子が写真に収められています。少し難しいかもしれませんが、おうちの人と一緒にみてください。

また、このような本もあります。「あのとき私は、…」「これから私は…」という本です。これは地震から1年後、当時の御船町の小学6年生が書いた記録文集です。それから熊本地震で被災した動物園の絵本などもあります。他にも御船小学校には、熊本地震に関係した本がいくつかありますので、図書委員会の皆さんにお願いして、図書室に熊本地震コーナーを作ってもらいます。よろしくお願いします。



机の下で安全ポーズ（1年生）



柴田先生のお話

